



平成22年11月8日

各 位

会 社 名 JKホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉田 隆
(コード番号 9896 東証第一部)
問合せ先 取締役財務部長 渡辺 昭市
(TEL. 03-5534-3803)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月14日に公表した平成23年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	265,000	2,700	1,800	650	22円00銭
今回修正予想 (B)	268,000	2,600	1,600	1,100	37円24銭
増減額 (B - A)	3,000	100	200	450	
増減率 (%)	1.1	3.7	11.1	69.2	
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	255,553	1,935	968	212	7円18銭

2. 修正の理由

平成23年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新設住宅着工戸数の緩やかな持ち直しが続くなど、経営環境が当初の予想に沿って推移したことから、売上高、営業利益、経常利益は概ね当初の予想に近い実績を確保いたしました。当期純利益につきましては、グループ企業の整理・統合に伴う貸倒引当金の無税化や、投資有価証券評価損計上に伴う税金費用の大幅な減少などにより、当初予想を大きく上回りました。

第3四半期以降の経営環境につきましては、低金利や税制優遇など住宅取得支援策の下支え効果もあり、新設住宅着工戸数の持ち直しの動きが継続するものと見込まれます。

しかしながら、水準としては年間80万戸程度の低水準での推移が続いており、エコカー補助金の終了など政策効果の一巡や円高の進行により景気の先行きに不透明感が強まっていることもあり、本格的な回復にはなお時間を要するものと見込まれます。

以上のような状況と上期の実績を踏まえて、通期連結業績予想を修正いたします。

上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上